

# 広報 九十廿

No.285

新春対談



1月 1995

## 主な内容

- 新春対談「生きがい語る」P2~7
- 年頭のごあいさつ P8
- 特集 農業を考えるⅡ P10~13

住んでみたいまち  
住みつづけたいまち

発行・編集 金田町役場企画開発課  
〒822-12 福岡県田川郡金田町大字金田937-2 ☎ 0947-22-0556 FAX0947-22-0782

# 生きがいがいいを語る

生きていくはりあい。生きていることの幸せや意義。生きがいがいい。人が暮らしていくなかで、人生最大のテーマであるこの「生きがい」について、4人のゲストを迎え町長と語っていただきます。

あなたにとつての生きがいは、もう一度見つめ直してみませんか。



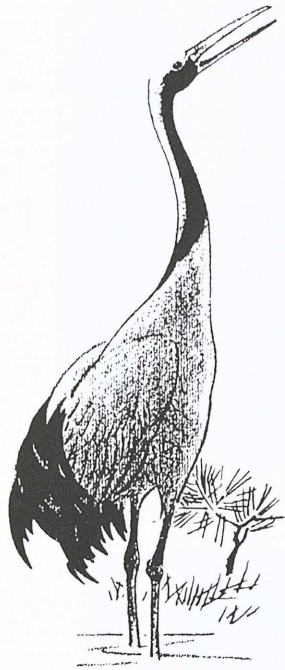
井上 次雄さん (69歳)

竹宗 サカエさん (62歳)

石川 明さん (75歳)

田代 静香さん (72歳)

大島 陸雄 町長 (69歳)



町長

町長の大島でございます。よろしくお話しします。今日は、皆さんお忙しい中を、ご出席いただきありがとうございます。本日は、皆さんお忙しい中を、ご出席いただきありがとうございます。本日は、皆さんお忙しい中を、ご出席いただきありがとうございます。

町長

町長の大島でございます。よろしくお話しします。今日は、皆さんお忙しい中を、ご出席いただきありがとうございます。本日は、皆さんお忙しい中を、ご出席いただきありがとうございます。

石川

老人クラブ連合会会長をしています。石川です。生きがい健康教室運営委員をやっています。よろしくお話しします。

町長

ありがとうございます。4月から始まりました生きがい健康教室で、受講して役立ったこと、楽しかったことなどエピソードをお話ください。以前、下田川老人大学では、社会教育課単独の事務局でした。この健康教室では福祉係、環境衛生係、国保年金係を含めた合同事業となっています。

町長

この体制も含めたところでお話ししていただければ幸いです。なんかみなさん固くなっているみたいだね。もっとワイワイアイでいきましょうよ。

町長

陶芸教室の方からということ、教室は毎週火・水曜日と行われています。火曜日はお皿とか日常生活に必要な陶器の制作をしています。水曜日は、皆さん個人の趣味で自由作品を作ります。もともと陶芸教室の始まりは、生きがい対策事業として十数年前に始まったわけです。最初は5、6人しかいなかったわけ。最初は5、6人しかいなかったわけ。最初は5、6人しかいなかったわけ。最初は5、6人しかいなかったわけ。

町長

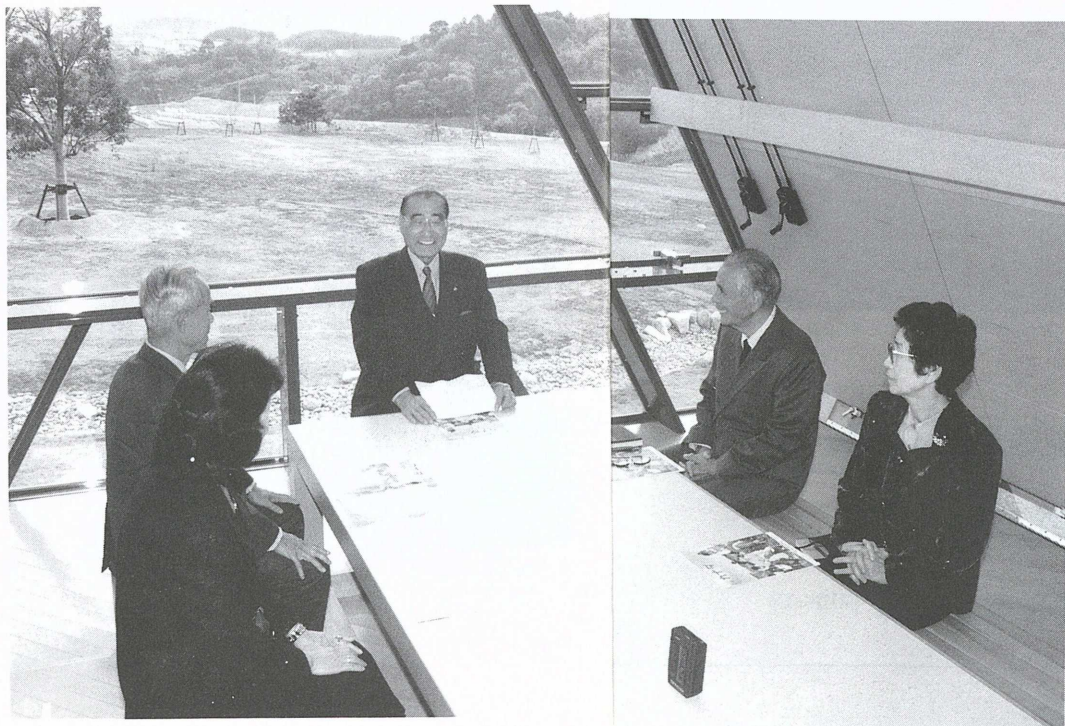
教育委員会の教育委員をやらせていただきます。井上でございます。また、文化連盟の会長と陶芸教室の受講者の方に指導を行っています。

町長

新町4丁目の田代でございます。教室の中では、民謡をやっています。今日は楽しい対談ということで出席しました。よろしくお話しします。

町長

新町2丁目の竹宗です。教室のなかでは歌謡教室を選択しております。よろしくお話しします。



町長

金田の下田川老人大学は、8年続いたんです。基準は3年だったんですけどね。年を重ねることに受講者が増えていくなにも継続できました。平成5年度の閉校式のときに「ああ、来年は金田では無理か」と思っていたところに降って湧いたようなお話が飛び込んできたんです。それが生きがい健康教室だったんです。皆さん、うれしく思いましたよ。

木曜日が来るのを  
楽しみにしています。

田代 私が老人大学に入ったのは、昭和63年のことなんです。その時は、「なにに入ろうかなあ」と考えていたところ「健康にいいから、民謡にすれば肩がこらないでいいよ」って、人に勧められのがきっかけで、今でも続けていただいているんです。午前中1時間の講義の後に、お昼から民謡をしているんですが、家に帰って今日一日あったことを、私の受け売りで主人に自慢げに話します。

竹宗 本当にありがたく思っています。

町長 いえ、いえ。

竹宗 私は生まれつき歌が好きで、60歳になっ

たらと思っただけで老人大学に入ったんですよ。老人大学って聞いて始めて行ったとき、どこに老人がいるのかと見渡しましたよ。

皆さんお若くてですね、びっくりしました。皆さんのご指導でお腹の中から声を出す、腹式呼吸を学んで元気が出ましたね。「今日の授業良かった」って、私もよく主人に話します。「良かったね、歌が好きだからね」って言ってくれます。木曜日が来るのが楽しみです。みなさんも言われていきますよ、「ここに来るのが生きがいだ」って。

各教室が始まるまでの午前中には講義でいろんな話が聞けて、勉強になりますね。

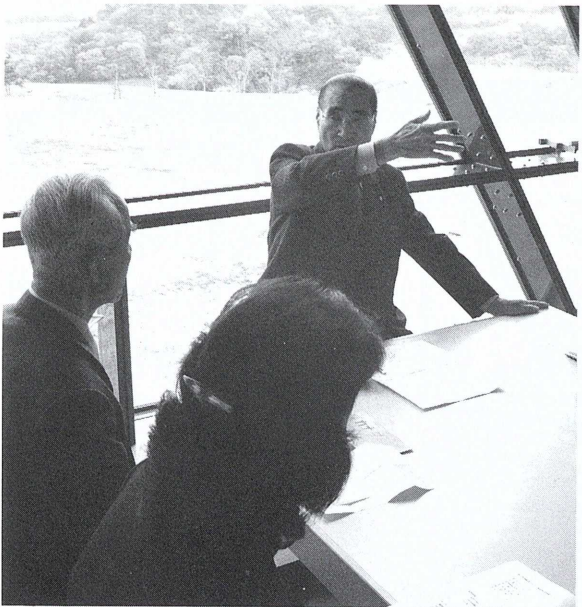
司会 それでは、そろそろ本題の「生きがい」というテーマで語ってもらいましょう。

中心にあるものは、  
健康である。

井上 生きがいというものの中心にあるのは、健康であると思うんですよ。健康でなければ趣味もいかせないし、感じることもできないんじゃないですか。私はそう考えています。

石川 健康と、おしゃべりをする友だちも必要だと思います。人の出会いとか、ふれあいがいろいろなることを学び、喜べると思うのですが。

田代 私がご指導受けている民謡の先生が、いつもおっしゃる言葉が、「和という言葉は皆さん考えてくださいよ」ってよく言われるんですよ。私も好きな言葉です。



町長 みなさんから楽しみであるとのご意見をいただいて、私もうれしく思いますよ。続けていくことこそ、もっともっと若々しくなるものだと感じましたね。

町長就任と同時に赤字再建団体に落ちましたよね。その期間中に、町民の皆さんにご迷惑をかけたのですが、反面、町民の皆さんの自立心が芽生えてきたことを誇りに思います。このことがあったこそ、今の金田町があると思いますよ。生きがい対策は、なんと言っても皆さんが健康であることです。私も健康のために役場まで歩いて来るんですよ。

石川 そうですね。健康がまず第一だと思えますね。私なんか、検診で大腸ポリープを発見して以来、健康管理に気を遣うよう



竹宗 そうですね。私は、文化祭とかに歌わせていただくときに、私のヘタな歌でもみなさんが聞いてくださるんですよ。そんなとき幸せだなあと感じます。それに私よりずっとご先輩の方も出演するんですよ。私たち若い方が練習なんかで負けていますよ。私も同じ年齢になっても歌えるだろうかと考えますね。

町長 歌謡とか詩吟なんか、歌を練習されている方は、腹式呼吸の練習をするから充分に酸素の取り入れ方を会得できるんですよ。健康のために良い方法だと思えますよ。

竹宗 ええ私もそう思います。詩吟の練習のときなんか2時間で汗が出てきますものね。

石川 話はちょっと変わるんですが、私が今年嬉しかったのは、敬老会の始まる前座に健康教室の受講者によるアトラクションをやったんですよ。その話があったときは、待ってましたと思いましたよ。

町長 私もいつも思っていたことなんです。いつも敬老会が終わるまでには、残ってい

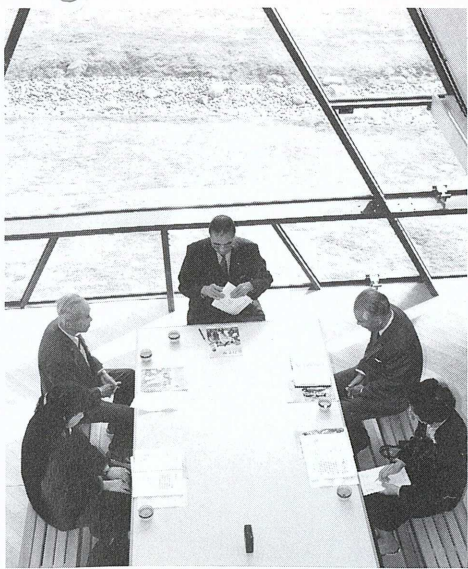
になりましたよ。今年度から総合検診を行うようになって受けやすくなりましたよ。ね。

検診受けて、  
よかったと思いました。

町長 私の妻が昭和39年に検診を受けて、子宮がんを発見したんですよ。すぐに摘出して再発しなかったんですよ。健康管理は、まず検診からですから、多くの皆さんに受けてほしいですよ。

竹宗 私もですね、7、8年前に自分は健康そのものだと思っていたんですよ。ところが検診結果で血糖値が高いつて出たものですから、それから食事とか運動に気をつけています。お医者さんからは、「(糖尿病の)自覚症状が出てからは遅い」って言われて「ああ検診を受けてよかったなあ」と思いましたね。

町長 私も血糖値が高いんですよ。職員検診で再検査をしないと医者から言われてですね、再検査したところ入院ですよ。それで減量しましたね。



石川 ええ、福祉課の方から話があったときは、健康教室の発表会ができると思いたよ。

町長 本当によかったと思えましたね。そうですね。敬老会はお年寄りの方が自分たちでつくるものですよ。私もそう思います。もう来年の出演願もきていますからね。「ちょっと待ってください」って、嬉しい悲鳴ですよ。(笑い)

自分達のは、  
好奇心を持つて！

井上 「住みたいまち、住みつづけたいまち」を町民の皆さんに浸透していつてる段階で、私たちも頑張らなければならないと思えますよ。

石川 自分たちのことは、自分たちという自立心が、やる気をおこさせていくものだと思いますよ。今からの高齢化社会を、乗り越えていくにはフケこんでちゃいけないですよ。私たちも、若い方も。

町長 そうですよ。いろんなことを勉強して、吸収して、それでもって健康で、みんなができることなんです。何にでも好奇心を持たないためです。ですから、まずは、健康のために運動をすることからですよ。